

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-2-8	事務事業名 保存樹木・樹林・生垣への助成	所管部課 都市整備部公園緑地課
--------------	-------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 市街地に残された貴重な緑地空間としての屋敷林、雑木林、生垣など身近なみどりを保全し、快適な生活環境の保全を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)環境にやさしいまちづくり (施策)みどりの保全・活用(環1-1) (主要施策)樹林・樹木・生垣の保存
	実施内容、実施方法 指定基準に適合している樹木、樹林、生垣を保存樹木等に指定し所有者に対し、維持管理経費の一部を補助する。	根拠法令等 西東京市みどりの保護と育成に関する条例 西東京市みどりの保護と育成に関する補助金交付要綱
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 補助金交付可能樹木数	活動指標の考え方(定義) 補助金の交付が可能な樹木数
	補助金交付可能生垣数	補助金の交付が可能な生垣数
	成果指標名 補助金交付樹木数	成果指標の考え方(定義) 補助金を交付した樹木数
	補助金交付生垣数	補助金を交付した生垣数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		0	0	7,570	8,724
	国庫支出金	千円				
	都支出金				3,990	872
	地方債					
	その他					
	一般財源		0	0	3,580	7,852
	所要人員(B)	人			0.1	0.1
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	833	833
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	8402.8	9556.8
	単位当たりコスト (E)=(D)/(補助金交付樹木数)	千円	0	0	10.46	
	歳入	千円				
	活動指標	目標値	本			1,020
実績値		本			1,020	
活動指標	目標値	m			8,500	8,600
	実績値	m			8,500	
成果指標	目標値	本			1,020	960
	実績値	本			803	
成果指標	目標値	m			8,500	8,600
	実績値	m			8,397	

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	東京都26市のうち22市で同様の事業を実施している。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	特になし。

コード 8-2-8	事務事業名 保存樹木・樹林・生垣への助成	所管部課 都市整備部公園緑地課
--------------	-------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	補助金を交付した樹木等の数が目標を下回った。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	年々、減少しつつある身近なみどりを保全するために必要な事業である。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	限られた財源ではあるが、所有者が保存樹木等を保全(保存)するうえで負担となっている維持管理経費の一部を補助するために有効に活用している。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	指定基準に適合し保存指定された樹木等のみが補助の対象となっているが、特に問題はないと判断する。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	身近なみどりを保全し、快適な生活環境を保全するために、継続実施が必要である。また、多摩北部都市広域行政圏域の目指す将来像である「緑と生活の共有圏」の創出を目的とした事業として、東京都市町村調整交付金の対象事業にもなっている。

17年度における改善点	制度のPR方法等を検討し、保存樹木等の指定数の増に努める。
-------------	-------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。